

# 大産大ベスト8連覇へ順当

関西学生選手権

## バスケットボール 第4日

(30日・門真市なみはや  
ドームほか)

▽男子4回戦

大産大 1部4位 97  
20243419  
神戸大 2部6位 65  
20151119



写真Ⅱの活躍で神戸大を97-65で下し、連覇へ順当に勝ち進んだ。一方、

4回戦8試合が行われ、ベスト8が出そろった。昨年の覇者、大産大は野々口航太(4年・大商学園)Ⅱ写真Ⅱの活躍で神戸大を97-65で下し、連覇へ順当に勝ち進んだ。一方、昨年2位の天理大が61-78で、関西学生リーグ2部の大産大に敗れる波乱があった。2部校が1部校を破って8強に進出するのは、史上初めての快挙だ。

### 野々口が18得点

素早いパス回し、スピーディーなドリブル、カットインプレーも切れ味鋭い。大産大の1-83位のエースG(ガード)野々口は、18得点

を決めて、チームをけん引。「しっかりと自分の考えを持って。そうになりたい」とサッカー日本代表MFの中田英寿が大好きだ。種目は違っても、尊敬とあこがれの目で「日本の司令塔」に熱視線を送る。

昨年のこの大会で得点王(77点)、リーグ戦ではアシスト王(72本)に輝いた。今年2月には日本学生選抜の合宿にも参加するなど、将来性は高い。しかし、その合宿中に左足首をねん挫し、1か月間練習ができなかった。「今は90%よくなってる」と瀬戸孝幸監督(40)はいうが、「今日は最悪。20点くらい」と、この日の出来には、厳しい自己採点だ。

将来はスーパーリーグ入りを目指す。「しんどい時でも自分がしっかりしないといけない」主将になって自覚も生まれた。「自分たちのバスケットができた結果はついてくる」ステップアップのためにも、連覇は必須条件だ。(中森 修三)

### 初の快挙に歓喜

大産大 雄たけびが上がった。輪になった選手たちは、ハイタッチで喜びを分かち合った。「出だしで点差をつけられたが、よく我慢した」下村勝也コーチは殊勲の選手たちを、たたえた。平山大樹(3年・大商学園)がディフェンスで頑張り、勝負どころで3ポイントシュートを決めた。リバウンドも奪い、勢いに乗った。「あとは一戦一戦勝つこと(同コーチ)。史上初の快挙にも浮かれてばかりではなかった。

▽男子4回戦

関学大	立命大	京産大	大商大	近大	大體大	大経大
1部10位	1部9位	1部2位	1部11位	1部1位	1部5位	2部2位
81	88	96	104	70	73	78
70	65	78	64	64	63	61
龍谷大	同大	甲南大	流通科学大	関大	大産大	天理大
2部4位	1部12位	1部8位	2部1位	1部3位	1部6位	1部7位